

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日西シンポジウム開催経費	担当部局庁	欧州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度開始 ・終了年度は協議継続中	担当課室	西欧課	課長 柳 淳				
会計区分	一般会計	施策名	I-4 欧州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第二項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	スペインが国際社会における地位を高める中、両国関係をより一層強化していくモメンタムを作り、各界の識者による意見交換の場を提供することにより、グローバルな課題を始め、両国の国力に応じた幅広い分野における協力の素地を整え、また、民間レベルの関心を高める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日スペインで開催地を交互にして「日本・スペイン・シンポジウム」を開催し、長期的視野に立って、日スペイン両国の相互理解の促進及び協力関係の強化を図る。具体的には、軸となるコンセプトを設定し、それに沿ったより詳細かつ具体的な議題を各セッションについて立てた上で、官・民・学等各界の有識者からの発表に基づき、出席者間で協議を行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	7	6	6	6	8	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	7	6	6	6	8	
	執行額	4	3	6				
執行率(%)	59.6	55.5	106.9					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	参加者及び政府間で双方の具体的な関心事項を明らかにし、今後の大枠となる方向性を協議する民間レベルの関心を高めるという観点から、双方の観光者数が一つの指標となる。		成果実績	日→西 西→日 観光者数	23.8万人 4.1万人	22.9万人 4.2万人	33.3万人 4.4万人	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	参加者数		活動実績 [当初見込み]	回／人	100	120	120 [100]	— [100]
単位当たりコスト	(50.0円／参加者)		算出根拠	6005円／参加者(120人)(平成22年度)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	会議運営委託	4534	0					
	大臣主催レセプション開催経費	672	0					
	会議出席旅費(在外職員)	753	370					
	会議出席旅費(外国)	0	1387					
	会議出席旅費(有識者)	0	5579					
	レセプション経費	0	328					
	計	5959	7664					

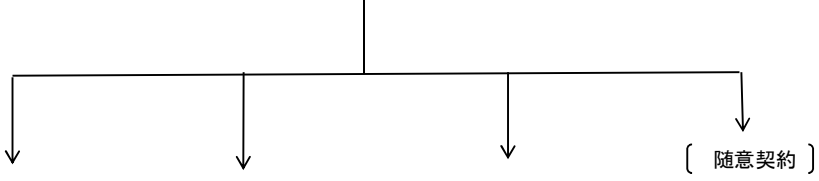
事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	経済等に特化した賢人会議であり、広く国民のニーズを測ることは難しいが、スペイン側も対日外交のツールとして本件を重視していること、再生エネルギー等今後両国の協力の可能性が高い分野を中心に協議を行っていること等から優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	スペインは、中国、インドなどEU以外の主要国とは同様のシンポジウムを開催しており、二国間関係強化のツールとして、本シンポジウムを極めて重視してきている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	H22年度はスペイン側の開催であったため、ロジ面等では先方及び地元政府の幅広い協力により交通手段の確保などがなされ、我が方負担を軽減することができた。より多くの成果を引き出すため、コンセプトや議題の設定にあたっての絞りを、人選を厳選する等して焦点の絞られた具体的な議論ができるように工夫し、例えば民間企業間で具体的な案件の形成につなげる工夫を行う。また開催地の地元政府や民間企業等、当該事業に関心の高い関係者を幅広く巻き込むことで、協議を活発にするとともに、予算の削減につなげる。		
現状通り	—		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
	—		
	補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）		

※平成22年度実績を記入

外務省

6百万円

〔 日西シンポジウム開催経費 〕



A. 会議出席者旅費(有識者3名)

4百万円

B. 出張(本省職員2名)

2百万円

C. 出張(在外職員5名)

0. 4百万円

D. Transervice

0. 3百万円

〔 車両借り上げ 〕

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	会議出席者旅費(有識者(3名))	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	出張(本省職員2名)	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A(有識者3名)	シンポジウム出席	4		
2	出張者B(外務省職員2名)	シンポジウム出席	2		
3	出張者C(在外職員5名)	シンポジウム出席	0.4		
4	Transervice	車両借り上げ	0.3		
5					
6					
7					
8					
9					
10					